

## (別紙)

1様式第1号(第5条関係)

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 第2回美幌町総合計画審議会 第1部会
開 催 日 時	平成30年12月5日(水) 18時40分 開会 20時45分 閉会
開 催 場 所	美幌町民会館 中ホール
出 席 者 氏 名	第1部会委員 三坂委員、空師委員、平田委員、木村委員 町 広島総務部長、小室総務主幹、遠國庁舎建設主幹、河端防災危機管理 主幹、田中まちづくり主幹、小室政策主幹、中尾財務主幹
欠 席 者 氏 名	向平委員
事務局職員職氏名	長尾政策担当
議 題	第6期美幌町総合計画基本計画(中期)素案について 基本目標1・5
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	
資 料 の 名 称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第6期美幌町総合計画 基本計画(中期)素案</li> <li>・ 第6期美幌町総合計画(平成28年度～30年度)基本計画(前期)評価結果報告書</li> <li>・ 第6期美幌町総合計画 前期(平成28年度～平成30年度)評価結果</li> <li>・ 第6期美幌町総合計画 中期(平成31年度～平成34年度)施策及び事務事業</li> </ul>
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
長尾政策担当	<p><b>【第1部会】</b>  <b>開会</b>  では、全体会議に引き続きまして、第1部会を開催します。  まず、美幌町附属機関に関する条例第9条第3項により、委員の互選により部会長を決めたいと思います。なお、部会長には、職務代理者の指名も行っていただきますので、よろしくお願ひします。  どうでしょうか。  それでは、特にご意見がないようなので、事務局案をお示しさせていただきますけれどもよろしいでしょうか。</p>
一同	(はい)
長尾政策担当	それでは部会長は、三坂委員にお願いしてよろしいでしょうか。
三坂委員	はい。よろしいです。
長尾政策担当	次に部会長から職務代理者の指名をお願いしたいのですが、よろしいでしょうか。
三坂委員	はい。 それでは、空師委員にお願いしたいと思います。
空師委員	はい。わかりました。
長尾政策担当	それでは、部会長には三坂委員、職務代理者は空師委員となりましたので、よろしくお願ひいたします。 では、ここからの進行は、部会長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。
三坂部会長	三坂です。よろしくお願ひします。 早速審議に入りますが、説明は重要なところだけやっつけよう。
広島総務部長	はい。説明は簡潔に。 それではまず、基本目標1の「人を創り、地域力を高めるまちづくり」の中期基本計画策定に向けた考え方ですが、平成28年度から平成30年度までの前期基本計画に登載されています事業の評価及び社会情勢等の変化により、見直しや統廃合が必要な施策や事務事業について区分ごとに説明をさせていただきたいと思います。
	<p><b>1-3 国際・国内交流の推進</b></p> <p>まず1-1から行くべきですが、1-3「国際・国内交流の推進」が施策の内容で総務と経済がかぶっているところがございますので、こちらから説明いたします。  それでは、中期素案の20ページからとなります。それと前期評価結果報告書は9ページとなります。  中期素案と前期評価結果の両方を使いますので、準備していただきたいと思います。  まずは9ページの前期の取り組み検証結果を見ていただきたいと思ひ</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>広島総務部長</p>	<p>ます。この施策の達成度の平均値が2.5となっており、達成状況としてはあまり良い評価ではありません。これは、国際交流の推進という施策の平均値が、2つの事業に対して2.0という評価になっております。</p> <p>この評価については、国際交流を推進する上で必要となるホームステイや通訳に関する新たなボランティア登録がされなかったこと、また、各事業において十分な成果が挙げられていないということからこの評価になっております。</p> <p>②、③については3.0ですので、概ね計画どおりに進んでいるといった評価になっております。</p> <p>このような前期の評価を受けて、中期ではどのような計画を策定しているのかというと、素案の20ページをお開きください。</p> <p>前期の計画と大きく変わるところについては、まず、様々な連携により美幌町での体験等を通じて関係人口を創出していくこととしており、移住体験住宅等を含めて交流人口の増加を図っていきたいという中期の計画でございます。</p> <p>中期計画の素案においては、様々な連携を図りながら、美幌町での体験を通じた中で関係人口を創出していくということについて、20ページ「基本的な考え方と指標」の中の赤字で書いたところです。</p> <p>それと、21ページの施策で新たに追加しているものにつきましては、農業体験を通じた修学旅行生の受け入れ、あるいは地元の高校との交流を促進した形で様々な世代の関係人口を作っていくことということで、国内交流の推進の中に項目として挙げさせていただきました。</p> <p>また、町内の各種イベントなどの紹介を積極的に発信していくことにより、美幌町に対し興味を持っていただき、訪問をしていただく取り組みを推進することとし、それらが全て関係人口という形になれば良いということで、施策としています。</p> <p>基本的にはこの中には書かれておりませんが、こういったことを中心にやりながら関係人口を創出していきたいと考えております。</p> <p>「現状と課題」の、下の方の赤字の中に、移住や二地域居住について記載させていただいております。これは美幌町の生活を体験していただくことがスタートとなりますので、現在予約の多い、移住体験住宅の拡充についても検討を図ることとしております。</p> <p>また、国際・国内交流の出発点については、情報発信の中から本町に興味を持っていただくことが、様々な可能性を創り出すという風に考えておりますので、これらの情報発信についての情報のあり方や美幌町の優位点などを整理しながら進めて行くということで、美幌町に最終的には訪れていただくということを進めていきたいと、中期の計画を策定させていただきました。</p> <p>説明については以上でございます。</p>
<p>三坂部会長</p>	<p>今の説明に対して質問や意見はないですか。</p>
<p>平田委員</p>	<p>はい。今説明を聞いていたら交流ばかりやって、何を得るために交流をやるのか。ただ来てもらって、経済効果をどうやって上げるのか等の具体策が見受けられないと思う。</p> <p>例えば美幌に来て体験していただくのも良いけど、体験していただいて、「楽しかった」で終わりにするのか、体験した人を美幌に定住してもらうためにこういったことをやるというものがない。言葉だけで、どういう結果になるというものが見受けられない。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
平田委員	<p>他の町から来て、ただ遊んでもらって帰って行って、それで何人来たから良かったというような文面に見える。その結果美幌に移ってもらうだとか。</p> <p>たまたま今日NHKを見ていたら、胆振の厚真町をやっている、厚真町は移住で人口が増えかかって来たときに災害が起きて、施策は中断したけれど要望が多くて、20人だとか30人から居住の希望があり、行政も動いているということをやっていた。</p> <p>何を目的としているかがわからない。移住体験住宅は、美幌町へ移住してもらうためにやっていると思うが、主にやっているのはエコハウスですか。</p>
広島総務部長	<p>体験住宅としては「四季彩美幌」という旧美中の教頭住宅を改修したものがあって、それと、みどりの村のグリーンビレッジの2カ所がありますが、大方が「四季彩美幌」を利用しています。</p> <p>これは年間のほとんど予約が入っておりますが、長期に滞在される方が多いので、多くの方に体験していただくことができないため、先ほど説明したとおり、そういう住宅をもっと増やしていく必要があるのではないかということについて、具体的なものを検討しなくてはいけません。</p> <p>それと、今平田委員が言われた、何を目的としてというのは最終的には移住をしていただくということです。その移住をされる前に、美幌町に興味をもっていただくことが大事なので、情報発信をした中でまずは美幌町に訪れていただくということをしないといけません。</p> <p>修学旅行生の受入についても、この子たちが美幌に来て色々な体験をして、社会人となったときに「美幌」は良かったということで訪れていただき、ある程度の年代になったときにそういう方が移住定住に移っていくといった形を、交流を通じて最終的には移住定住に結び付けていきたいということが、「国際・国内交流の推進」ということであります。</p> <p>なので、考え方としてはスパンが長いですが、この施策については進めていきたいという考え方です。</p>
矢萩経済部長	<p>修学旅行生の関係ですが、今年やっているのが、関西の高校です。ここは半日程度受入をし、農業体験、アスパラの収穫体験だとか、美幌高校の生徒さんに来てもらって、美幌高校で採れた野菜を使って一緒にピザを作ったり、笑顔プロジェクトの豚ジンカンを昼食に食べたり、パークゴルフをやったりという交流をしています。</p> <p>今年でいけば1人当たり8,000円発生しておりますので、ここから食材代だとか受入してくれた農家さんに報酬を払ったりしていますので、少なくともその金額は町の中で回っており、経済の循環に繋がっているのかなと認識しています。</p>
平田委員	<p>8,000円というのは参加者の方からいただいて、それを美幌に落としてくれているということだね。</p>
矢萩経済部長	<p>そうです。</p>
平田委員	<p>修学旅行は高校生ということですよ。</p> <p>少し違うかもしれないが、美幌高校の間口問題で生徒を増やそうと色々町をあげてやっていますよね。それらとリンクして美幌高校の生徒も増やそうという考えを町も持っているのであれば、高校生ではなく中</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
平田委員	<p>学生まで下げて、もっと美幌高校や町をよく見てもらったりだとかして、その内の1人でも2人でも来てもらうとか、そういうとこまでターゲットを変えてやる必要性もあるのではないのかと思う。</p>
木村委員	<p>美幌高校ってまだ寮は使っているのですか。</p>
広島総務部長	<p>使っています。</p>
木村委員	<p>それであれば、道外だとか道内でも良いと思うのですが、中学生に美高の良さを感じてもらうのはすごい良いのかなと思います。</p>
木村委員	<p>また、情報の発信というのはどういう形でPRしているのですか。移住体験のことであったり、修学旅行の受入だとかのPRについても知りたいのですが。</p>
矢萩経済部長	<p>修学旅行については、東京圏、関西圏の旅行代理店へプロモーションを行ったり、去年は、町と会議所と物産協会と金融機関、それとJA、森林組合で作った観光まちづくり協議会の事業としてやっております。町が直接やるよりも、そういった民間の機動力を活かしてプロモーションを積極的に行っています。</p>
広島総務部長	<p>移住体験については、そういうサイトがあるのでそこでPRもしておりますし、東京で移住のフェアが開催されておりますので、そこに出席して、美幌町に興味をもって訪れた方にはダイレクトメールを送るといった形で美幌の情報を差し上げております。</p> <p>そういった中でまずは名前を覚えていただき、どういうところかの興味を持っていただき、1回行ってみようという気持ちを起こさせるような形での情報発信を行っております。</p>
木村委員	<p>ふるさと納税をしてくれた方への情報発信は行っていないのですか。</p>
小室政策主幹	<p>ふるさと納税をしてくれた方にも色々な情報は出しています。</p>
広島総務部長	<p>いかに美幌町に関係していただける町外の人を増やしていくかということが、この交流の1番の目的です。</p>
木村委員	<p>そういった意味でいけば、部活とかサークルを1番抱えているのは大学だと思うのですが、町として道内道外問わずですけど、まずは道内札幌の大学に、美幌町をもっとサークルの合宿に使ってくださいとか、そういった提案に行ったりとかはできないのですか。</p>
広島総務部長	<p>できないことはないとは思いますが、そういう受入施設がまずはあるかということなんです。</p> <p>合宿期間でいけば、グランドホテルにはラグビーのチームが来ますので、他のサークル団体やスポーツ団体を含めて収容できる施設があるのかということが1つと、どういった分野の方が来られるかはわからないのですが、例えばバスケットの合宿に来たいといった時に、練習する会場を絶えず提供できるかということを含めて調整しなくてははいけません。</p>
平田委員	<p>例えば体験住宅も、予算だとか色々問題があるから簡単にはいかない</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
平田委員	<p>けれども、要望があるのであれば、要望に応じていかないとやっている意味がなくなる。</p> <p>要望が5件あって住宅が1軒しかないから5ヶ月待ってくださいとか5年待ってくださいとかそんなことやっていたら誰も来てくれなくなる。</p> <p>話は違うが、自治会連合会の関係で札幌の病院の院長さんに来てもらって、その病院の経営方針だけれど、今の医療もMRIが1台しかないから、1か月待ってください、2か月待ってくださいというような医療は医療ではないと言っている。</p> <p>その病院は個人病院だけれどMRIを3台持っていて、常時、その日にすぐ対応ができる。そうでなければ生き延びていけない。</p> <p>僕から見たら一般住宅を借り上げたりして、お金はかかるが、体験住宅は造る気になればいくらでも造れて、空家対策もやっているのだからそっちの方でも解決が広がっていくのではないかと。</p> <p>今年は1軒、来年は2軒と段階的に増やしていくといった答えを出していくような事業をやっていかなければ、いつまでも作文で終わってしまう。ただやっている、こう考えている、評価はなんぼだとかではなく、答えを出していかなければだめではないかと思う。</p>
広島総務部長	<p>答えを出すために計画を作るのですが、なかなかその答えが出てこないという分野が数多くあります。</p> <p>今平田委員が言うように、スピード感が足りないというのが1つあると思うのですが、これは1番行政の悪い所で、行政がスピード感を持つということは、手続き上クリアしていかなければいけないので少し難しいところがあります。</p> <p>例えば「四季彩美幌」は条例で定めた施設なので、民間住宅を借りて条例上公共施設として定義をするというのは契約上相当難しいというところもあり、行政がやる上では色々とかかかってスピード感が出ないので、教頭住宅だとかそういった使わなくなった住宅を改装して作りました。</p> <p>違う形、どういった形でできるのか、例えばちょっとした菜園付きの住宅を体験住宅としてお借りできれば良いかなと思います。民間所有のものを行政の財産としてお借りする手続きを経て、契約上もクリアしていくということを見ると、色々な課題を解決しないとできないかなというところがあるので、それらをどうすれば整備できるかということも含めて考えながら増やしていくことをやっていかなければいけないかなと。</p> <p>そこはやはりスピード感を持って対応していくということが必要だと思います。</p>
平田委員	<p>我々民間がやるのももちろん違う。行政が色々考えたって議会の同意が得られなかったり、予算が絡むことだからそれはわかるけれど、やはり言葉だけでは前に進んで行かないと思う。</p> <p>やはり今部長が言ったように、なんらかの条例を作り直さないといけなく、条例を作るのは大変なこともあるけれど、それを1つ1つ解決していかないと、大変だからと置き去りにして行ったら前に進まないと思う。</p>
広島総務部長	<p>そのとおりだと思います。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	<p>そのクリアできることを1つずつ潰していった中で、最終的にこういった形としてできるというものを作っていかなければならないと思いますので、そのところのスピード感をいかに確保できるのかということとるだと思ひます。</p>
平田委員	<p>人口を減らそうと考へている人は誰もいないと思ひます。  ただ、日本全国どこでも増やそうとして頑張っているのだから、よほどの好条件でないと思ひ来ないと思ひます。他町村との引っぱり合いだと思ひます。そこでどうやって勝っていくかということ、特に美幌というのは、言うまでもなく、都会に行くのにも地の利がすごく良い場所だと思ひます。女満別空港を利用すれば、東京のど真ん中からでも2時間あれば来れる便利な町なので、セカンドハウスみたいにして、こっちに住居を持ってもらうとか不可能ではないと思ひます。  そうやって1人でも2人でもそういった方が定住してくれば、美幌へ行ってみようという人が増えるけど、こういうことを都会の人に出して、では誰が住んでいるのですかとなると、今のところ誰も決まいませんとなれば中々来ないのではないかという気もするので、関係人口を創出したいとか、定住とか移住について色々書いてありますが、それによって国内交流も含まれて来ることだと思ひます。国内交流には学生交流もあるし、一般社会人の交流もあるし、地方自治体の職員の交流だって生まれてくるだろうし。</p>
広島総務部長	<p>今言ったものも、二地域居住ということで記載させていただいておりますけれど、希望される方は結構多いです。夏は北海道、冬は暖かいところに。やはり、北海道に移住をして定住をしようと思ったときに雪がどうしてもネックになるということで、夏は涼しい北海道に来たいけれど、冬は北海道の雪中では厳しいという方がいますので、その二地域居住で夏場だけこちらに来てということもやっていかないと、中々美幌に住んでいただける方というのはいないかなと思ひますので、二地域居住を進めていきますという形で考へております。</p>
木村委員	<p>二地域居住について、役場で仲介したというか関わった方はどの位ののですか。</p>
小室政策主幹	<p>移住体験した方は二地域居住をしたいと言っていますが、まだ条件が揃うまで何年か掛かるということで、何件かは不動産会社へ案内をしました。</p>
辻師委員	<p>二地域居住について、実際に美幌町内に移住して来て住んでいる方たくさんいますよね。そういう人たちの体験だとかを何かの形で希望している人たちに、夏の住み良いところを何らかの形で発信すれば良いと思ひます。</p>
広島総務部長	<p>住んでいる人間にはわからないところが、移住して来た方たちが美幌はこういうところに優位性があるというのを感じているところがあるので、そういった話をもらいながら上手く利用して情報発信をしていくということが大事なのかなと思ひます。</p>
三坂部会長	<p>その件については色々あって、美幌の場合は多少手遅れしていると思ひ</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
三坂部会長	<p>う。我々も昔、別荘地対策というものをやっており、これは要するにさっき言っていた夏場は美幌に住んでもらうというようなもの。</p> <p>ただそういう形でやるためには土地の問題がある。そうすると土地はどこが良いかということで、環境の良い場所となる。</p> <p>なので不動産仲介にばかり頼るのではなくて、行政が空き土地を利活用できるような方法で情報を流してやると。その対策はもう他の町村でやっているわけだから、良い場所をどんどん情報として流すことによって、そういう人たちが来るということもある。</p> <p>さっき平田委員が言ったように、東京から美幌は1時間位で着くので非常に便利だし、交通の利便性はこんなに良い所はないので、そこを踏まえてやると非常に良いのではないかな。</p> <p>ただ都会ばかりが良いというわけではなくて、こちらの方が良いという部分もあるので、別荘地ということで美幌の周辺で我々やったのだけれど、それは個人の土地だから中々活用できなかった。だけれどそういう発想というのは、前々からある。それをもっと行政も会議所も一緒になってどんどん宣伝して寄せ集めてほしい。今美幌へ来て人口を増やそうとしたってそう簡単に増えないので、それしかない。経済的なものは交流人口を増やせば良いだけだから、では交流人口を増やすには何をするかということで、それは考えていけば良いことで、今商工会議所のところに入っているのだからそれにもっと力を付けてやっていけば良い。このことについては非常に良いと思う。</p> <p>ただ部長、観光イベントに線が引いてあるが。</p>
小室政策主幹	<p>この部分は中期には入りません。</p> <p>それを置き換えて赤字の修学旅行の部分が入ります。</p>
三坂部会長	<p>そこの違いだ。</p> <p>修学旅行も良いのだけれども、今北海道に修学旅行どれだけ来てると思う。微々たるものだ。</p>
平田委員	<p>交流やるのも良いけど、観光とか物産交流は国内ではしないということになってしまう。</p>
小室政策主幹	<p>ということではありません。例えばこのまま載せて、修学旅行の部分も付け加えるとか。</p>
平田委員	<p>修学旅行に観光とか物産交流なんかも付いて歩くのではないかなと思うのだけれど。</p>
木村委員	<p>これは何でもかんでも盛り込んだら大変だから特に力を入れるというところを記載しているということですよ。</p> <p>なのでバツにしたからやらないということではなく、今回はこれではなくこっちをさらに力を入れますよという記載ということですよ。</p>
広島総務部長	<p>両方載せることも可能ですし、①の「観光・物産交流の推進」というのは従来からやって来ていますので、中期の中でも当然やることなのですが、これも1つの交流のツールだと思うのです。</p>
木村委員	<p>確かに別物ですよ。</p>



発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	一緒のものではないと思うので。
木村委員	だとしたら残しておけるなら残しておいた方が良いのかなとも思います。
平田委員	みらい農業センターに来てということは、今はやりのアスパラをやるのだと思うのだけど、農政でやるから観光から外すというならわかるけれど。
木村委員	<p>1つ意見として、3の「移住定住の推進」の部分で、取組について色々書かれていると思うのですが、私上士幌町に視察に行ってきたのですが、上士幌は移住定住の部分でかなり力を入れている町で、道東で唯一移住で人口を増やしている町なのです。あその強みは、常に移住して来た人とか移住希望者が集える窓口というか拠点を1つ作っているのです。</p> <p>例えば、美幌だったら、さらだとか、ぼっぼ屋さんとか、そういったところを移住定住の人たちが集って意見交換や情報発信ができ、移住したい人がいたらそこに案内して、その人たちが美幌の悪い所も良い所も含めて現状をお伝えしてお勧めするというような、恒常的にそういう人たちが集えて対応できる窓口というか、役場だけではなく、官民一体で作ってほしいなと思います。民間だけだと大変な部分もあるかと思えますし。</p>
広島総務部長	<p>役場に来たらわかりますよというのは中々難しいと思います。来られる方も少ないかと思えますので。</p> <p>ただ、ここに行けば移住定住関係の情報が集約されていて、なおかつ住宅のことも美幌町へ来た人の意見も集約されていてというものの情報の集合体はどこかにあれば、そこを目指して希望される方は来るのだろうと思いますので、そういったものもどういった形で作れるかということについて検討をしながら、まずは情報を集約しながら発信していくことを考えていかなければならないと思います。</p> <p>そういったことも含めて移住定住の中では考えていくような形を取りたいと思います。</p>
木村委員	<p>サポーターは、関係人口のサポーターで、美幌を応援する方のサポーターですよね。そうではなくて、町内へ移住してきた人たちに移住定住のサポーターになってもらって、例えば移住定住を希望する人たちのガイド役をやるとかアドバイザーをやるとか。</p> <p>例えば町内の移住定住者に委託して、移住定住促進のサポーターになってもらえませんかという形で、そういう人たちが集える場所を作って、移住定住希望者に、実際に移住定住をして来た人たちが美幌の良さを伝えたり、ガイドしたりということが出来るような仕組みを作ったらどうですかということが言いたいです。</p>
広島総務部長	美幌に移住定住された方について、どこかで情報交換できるものがあったり、そういった中から、美幌は引っ越してきてわかったけど良いところなので僕らももっと情報発信しましょうというような形になっていただけなのが1番ありがたい。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
平田委員	<p>テレビでしか見ていないけれども、厚真町にしても行政の取り組みの姿勢だと思う。美幌町はできないようなことを言っていましたけど、行政にそういう担当者を置いて、どういう施策をとっていますということ伝えて呼び込んで、そして定住したらその人たちをどうやって助けていくかということは、農業だったり商業だったり、その人たちがスクラムを組んで応援して、来た人とのネットワークを通じて助けると。</p> <p>今日もやっていましたけど、被災に遭って厚真町の食材を販売しようと居酒屋のチェーン店が一生懸命厚真町から送っている。</p> <p>どこの町も、行政にきちんとした窓口をもって専従してやっているところは結果的に集まっている。</p> <p>行政がきちんとしないと、民間で人を呼んで来たとしても限度がある。</p>
木村委員	<p>官と民では役割が違うと思う。移住定住して来る人が公務員になることはなく、美幌で商売したい、勤めたいという人が多いと思うので、そういう人たちがどういう人の声を聞きたいかという、たぶん民間の人たちの実際に移住して来た人だとか、そこで生活をしている人たちの話を聞きたいと思うので、そういった意味でまず最初に取り掛かりはあるかもしれないけれど、民と一緒に協働でやっていきたいと思いますという窓口施設があれば良いのかなと思います。</p>
三坂部会長	<p>日本は官がやることは信頼度が高い。民がやるのとは違う。やはり役場がやることによって相手方も信頼を持つ。次の段階は、民間と協働してお互いにやっていくこと。窓口をどこに置くかということが基本で、情報を全て出すのが窓口だから。</p> <p>他の町村、上士幌もそうだけど窓口は行政です。あとは農家だとかがやっている。栗山町もそう。そういう形でやっている。そこをどういうように行政が取り掛かってくれるか。文章ではなくてやるかやらないか。</p>
木村委員	<p>やはり窓口がきちんとあるかどうかは移住定住をして来たいと思っている人たちの取っ掛かりは違いますよね。そういうところが整っている町か、表に出してないけどちゃんとやっているが、表に出てないせいでわからないから美幌には来ませんでしたみたいなことに。</p> <p>表にどんと出して、こういう窓口ありますよ、こういう施設ありますよ、移住定住者が集まる施設ありますよという風に大々的にやるだけでも全然違うと思います。インパクトが大事。</p>
三坂部会長	<p>確かに東京から本州の山へ移住するのと北海道へ来るのとは違うからそういうことは必要。</p> <p>やはり行政の窓口として、常にそこに行けば色々な相談をできるという場を作って、情報をもらえるという様にしておけば安心するよね。そういう情報源は大事。現実的に家族で美幌へ来て住んでいるというのは何件かある。</p> <p>だから町の形態もあるし、土地の問題と環境。我々がだめだと思っても相手方にとっては良いところもあるし。その違いだと思う。これは中々難しい。行政が腰を上げるか上げないかの違いで、文書に書くのは良いのだけど、問題はそこ。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	部会長すみません。国内交流のイベントの関係ですが、観光の方で削った経緯だとかを説明させていただいても良いですか。
三坂部会長	はい。教えてください
那須観光主幹	これは観光イベントの推進を図るのは止めるという意味で削ったわけではなく、この項目が「国際・国内交流の推進」ということなので、昔吉松町だとかそういった部分の経緯の施策が残っていましたので、このような形となったのですけれども、もっと具体的なもので、最近では農業体験の場を通じた交流というものがあつたので、ここに含めるようにさせていただいたのですが、95ページに地域特産品の部分があり、(2)の②に「物産展・物産関連イベントの参加促進」という部分で載せておりますので、こちらの方にこの施策については書かせていただくというように意味での修正ということになっております。
那須観光主幹	
平田委員	だけど別に切り離さなくても、連動していった方が効果は上がっていくのではないかな。
那須観光主幹	観光イベントによって国内交流というのが結び付くようなイメージや施策が現時点ではない。
平田委員	考えれば良い。ないではなく。
三坂部会長	道外イベントで効果あるないというのはオホーツク振興局でやっているような調査に似たアンケート調査をこの間もらって来たのだけれど、「オホーツクを知っている」というのはだいたい80%位で、その中で「どの町を知っているか」というものは、1番最初が網走、次が北見、美幌は5番目位。そういうところへ行ってアピールするというのは大事なこと。他の町村は皆やっているんだけどやらないとわからない。
木村委員	ただ交流としてやるか、PRとしてやるかの違いで、PRの方が強いからということでここは抜いて、こっちに移したということですよ。
那須観光主幹	そうですね。
三坂部会長	協議会でやっているような移住も含めた総合的な判断でやらないと結び付かない。
平田委員	1つ1つで区切らないでトータル的にやっていった方が良い。例えば修学旅行のPRの中に観光や物産も兼ねてやっていくとかそうやった方が一石二鳥に繋がる可能性だって生まれて来るのではないかな。
広島総務部長	この辺を含めて整理をさせていただきます。
小室政策主幹	木村委員から言われた既移住者がサポートするということも検討させていただきます。
木村委員	よろしくお願いします。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
三坂部会長	<p>それでは次へ進めたいと思います。</p>
<p>広島総務部長</p> <p>広島総務部長</p>	<p><b>1-1 町民との協働によるまちづくり</b></p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、1-1「町民との協働によるまちづくり」であります、素案の6ページになります。</p> <p>前期の評価結果報告書は7ページです。評価自体は悪い評価ではないということになっています。ただ評価だけでは全体的な施策がどうだという判断が中々できませんが、この中で1つ課題と言いますか、残って来ているのが、まちづくりへの住民参加が積極的に行われているのか、あるいは情報の活用が上手くされていますかというところ、また情報の発信というのはきちんと町民の方が望むような発信がされているのかというところ、もう1つが評価として高くないのは自衛隊美幌駐屯地関係です。これらについては前期の中では課題として残ったかなという風に考えている状況です。</p> <p>その前期の取組を検証しながら、中期素案においては、まず地域サポーター制度のあり方検討や、住民のまちづくり活動を推進するための具体的な取組支援、そして情報の入手手段の多様化による情報発信のあり方、あるいは正確な情報提供をどう図るのかといったことが、具体的な検討、取組が必要だろうと考えています。</p> <p>また、自衛隊関係につきましては、部隊再編の話もあることから、まずはその要望活動を積極的に行っていくということで従来から掲げておりました課題ではなく、緊急的に取り組むことを先にやっているということで若干評価が落ちています。</p> <p>この「町民との協働によるまちづくり」の施策については、前期計画と大きく変更となる箇所はありませんが、中期計画の中では、ソフト的な取り組みを中心としながら、それぞれの目的達成に向けて施策を計画的に間違いなく実践をしていくということが必要だと考えています。</p> <p>そしてこの分野については大きく計画を見直したところはないということでございます。以上でございます。</p>
三坂部会長	<p>意見はありますか。</p>
木村委員	<p>1つよろしいですか。</p> <p>前期の評価で、「自衛隊美幌駐屯部隊の充実整備」が平均値1になっていますが、それについて中期の素案を見させてもらうと削除されている部分はありますが、そこをどうにかしようという様に付け加えてもう少しこういう動きをしたら良いのではないかという意見がないのはどうしてなのでしょう。</p> <p>評価が低いということであればそこをどうにかしなくてはならないということでもっと動きが見られても良いのかなと個人的には思ったのですが。</p>
広島総務部長	<p>自衛隊の関係でいけば、従来から施策としてます、11ページの「保養施設の誘致」ですとか色々なことを要望して来ましたが、基本的に、ここに書いていますけれども、新編部隊の配置に向けた活動に取り組みますということで、自衛隊を取り巻く環境が、そういったことよりもっと基本的な、美幌の自衛隊の部隊編成をどうするかというところが今緊急</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	<p>の課題として上がっています。なので、そこをまずは確保しない限りは駐屯地の充実はあり得なく、そこにおそらく2～3年かかるということで、そこを主力的に行き、的を絞った形で、前期の評価はそれをやってきたものですから、他のところの要望を上げなかったということもあって評価自体は低いと。</p> <p>中期についても時間を要するので、引き続きやりますという形の素案を作りました。</p>
木村委員	<p>実際に何か活動というよりは、陳情・要望という動きが強いということですね。</p>
広島総務部長	<p>そうですね。</p>
三坂部会長	<p>自衛隊の場合国防的な問題だから、充実整備だけで良いと思う。余分なものはいらないと思う。町村がいくら言っても始まらない問題。1つの項目で自衛隊の全体をやると。そういう体制を取っておかないと。分別して分けたって意味がないから止めた方が良い。</p>
小室総務主幹	<p>的を絞って町として動きを一体化した方がより鮮明にわかり易く行動できるということもあって今回こういう整備をしています。</p>
三坂部会長	<p>今まではこれで良かったけど、これからは国防関係ががらっと変わって来るから、自衛隊の美幌充実だけで良いと思う。存続してだとか。それに対するものは書かなくても。</p>
木村委員	<p>あってはいけないことかもしれませんが、ロシアの動きに合わせてこちらの方が手厚くなったりという話ですよ。</p>
三坂部会長	<p>今度はロシアが国後、択捉に軍事基地を持って来たわけだから、北海道ものほんとしてられない。北海道の中でも再編されれば、どこが必要でどこが必要でないかが出てくる。離島があるわけだから。</p> <p>あんまり細かく分別すると美幌こんなに分別したけどやってないと言われるからその中でやっていくという方が良い。</p>
広島総務部長	<p>それで、11ページの(10)については充実整備に向けた陳情・要望活動の推進1つに絞りました。</p>
三坂部会長	<p>はい。継続ということで絞ったのですね。</p>
平田委員	<p>自分自治会やっているから気になったのですが、サポーター制度について書いてあるじゃないですか。これは前の連合会会長と美幌町長が協定を結んだのですが、自分が会長を受けてからはこの制度が全然活用されていないし、解除したいなと思って言ったら、1回結んだものは解除できないと言われた。文言にはきれいなことあるのですけれど、現実役場の管理職の中でも結構途中で変わったりしてまた新たな配置がされたのかわかりませんが、これを利用するということには行政職員の勤務時間でないとだめだという括りが確かあると思うのです。</p>
田中まちづくり主幹	<p>夜でも大丈夫です。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
平田委員	<p>前に協議したときには勤務時間にしかできませんよと。  勤務時間だって現実問題として、本業を投げて自治会の問題解決に何々部長が担当だから来てくれって言ったら本当にできるのかなって。  だから協定を解除できるのであれば解除したいと自治会連合会としては。  毎年定期的に組織変更が役場の人事異動であるけど、前はしばらく組織図さえ出て来ないときもあった。例えば1名でも退職して変わっても変えなくてはいけない。今回橋本会計管理者が辞めたあとどうなったかそこまでは見ていないけれど、その空いたところに誰が行ったのかとか変わった時点で全部すり替えて各自治会に配付していないですよね。</p>
田中まちづくり主幹	<p>していません。今回例えば年度途中で退職された方がいればとりあえず空席として、担当グループのまちづくりグループ主幹の私の方で穴埋めするという形で対応します。</p>
平田委員	<p>最低限穴空いた自治会さんには文書なり口頭なりで説明しているのでしょ。</p>
田中まちづくり主幹	<p>そこまではしていません。</p>
平田委員	<p>してないならやってないと一緒だから意味がない。  美幌町位の人事であれば日常茶飯事管理職が辞めるということはないと思うけれど、役所によっては毎月そういう立場の人が変わるところだってあるのだから、それに基づいてやっていかないとならない。  例えば内部異動で担当部署で違う部長になったりすれば本来は変更しなければならぬ。</p>
田中まちづくり主幹	<p>今は例えば元町だったら誰という様に人で固定しています。</p>
平田委員	<p>人で固定しても役職が書いてあったら変えないといけません。小さいことは変えなくて良くて大きいことだけ変えれば良いとなったら道理が通らない部分が出て来るから、やる以上は全部共通してやることやらないとならない。そうやって穴空いたときには誰が穴埋めますよということをしちゃんと受ける側もやる側もわかっていなければいけません。例えば住活の主幹が穴埋めすると言ったって今現在フリーではなく持っているわけでしょ。なら同時に依頼が来たら対応できなくなるわけでしょ。</p>
田中まちづくり主幹	<p>同時に来ればそうですね。</p>
平田委員	<p>そういう可能性だってあるんだから、人を配置するという事はそういうことも考えてやらなければならないと思う。  けどどれだけこのサポーター制度に各自治会から要請があって、解決の力添えいただいているのかが我々はわからない。年間何件あって、解決したこと、未解決したことはこれ位ありますよということを年1回発表してもらえれば良いけど。  新年度の総会ときに我々に名簿は出してくれるけど、橋本会計管理者が辞めたあと誰がなったとか、辞めて空席だからこういった形でやるよとか最低限そういう情報を流してもらわないと、こういう制度をつく</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>平田委員</p> <p>広島総務部長</p>	<p>っているというだけでわからないのじゃないかなと思う。</p> <p>この地域サポーター制度は平成20年、今の土谷町長が当選したときの公約の1つで作ったもの。作った当初は6件か8件位自治会からお話が合っ てやっていたのですが、その翌年からは自治会からの要望というか地域サポーターへの相談はありません。</p> <p>なので割と早い段階から使われなくなっていて、あとは災害時の要避難者、これについて2ヵ年かけて、自治会というよりも行政側からお願いに各地域の方へ回ったということだけです。</p> <p>それ以降は地域サポーターを通じてというのは実績としてはなく、最初の年の6件とか8件も、見ればほとんどが自治会要望なり、行政と自治会の懇談会の中で解決が今まで図れて来ているものであるということからいけば、元々作った地域サポーター制度というものが、そこギャップが出てきたのだらうと思っ ていまして、これは自治会連合会と1回話をしながらどういう形で整備をすることが良いのかということ です。行政側が決して自治会に御用を聞きに行くといった制度ではないので、本来自治会は自治会 で解決していただきますよと。ただサポーターに相談することによって時間が短縮できたり、色 々なセクションに繋がりたいということでこういう制度を作ったのですけれども、それが要望活 動だとか、意見交換会の中で解決が図れるようになるのであれば、本当に必要なかどうか、あ るいは衣替えをするのならどういった形で衣替えをするのかということ自治会連合会とも話をし ないと生きてものにならないと思っ ています。1度自治会連合会と腹を割って話すことが必要だと感じています、実績がないとい うことはそういったことだと思 います。不必要だということであれば止めるべきだと思いますし、そういったことも踏まえて 協議をする必要があるかなと。ただ、今すぐには結論が出せませんので、自治会連合会だ とか、単位自治会なのかも含めて、中期の中で一定の方向性は出さなくては いけないと思っ ています。</p>
<p>平田委員</p>	<p>今部長からあったように我々連合会全体との懇談会にも乗っけて来て、今まで過去に出た ような問題点は懇談会の中で解決を すると。</p> <p>サポーターとして例えば自治会が本当に必要なときに求めるのは法務的な争いが起 きたときだと思っ ます。それ以外はサポーターの人に苦情を言っ て解決してもらっ より今言っ た懇談会の席で色々やっ た方が早い のではないかな と。</p> <p>そういうことがより実効的で効率的だということになればきちんと整備をした中 で見 ていかなければ いけないと思 いますし、使 われない制度 であれば考 えなくては いけないと思 います。</p>
<p>三坂部会長</p>	<p>これは一長一短あるのではないかなと思っ ます。</p> <p>今行政でどう対応するかは知らないけれど、昔、土地の境界問題だとか建設の 人が来て立ち会っ てお互いに話 し合っ て納得して いた。あれは 一種のサポ ーター。権限 的には法務 省とかにな るけれど、 手順を教え てもらっ るのはそう いうとこだ から、手順 の行政的な 手法のサポ ートもある し、民間の 色々な問題 もあるだろ うし、それ は自治会と 話し合っ て決めて もらっ るのが一番 良いのでは ないかな。</p>
<p>平田委員</p>	<p>わかりました。この問題はこれで良いです。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
木村委員	<p>1つ良いですか。2番の「まちづくり活動の推進」というところで、先ほど広島部長がおっしゃっていた、地域住民がまちづくりとかそういうところに中々参加しないという意味でいけばやはりここを一番改善させるべきなのかと思うのですが、見てみると3.5であまり低くないのかと感じます。内容は1に災害、犯罪の防止、各団体の支援、2、3にお金の部分でのサポートという形になるのかと思うのですが、たぶんこれからは行政だけでは中々まちづくりや町おこしの部分は人手が足りないし、アイデアという部分でも民間から出していかなければならないという意味で、民間のやりたいという人たちがお金があるかというところ中々ない。お金を使わないようにそういうことをやるということが一番だとは思いますが、そうもいかないと思います。実際に2、3の部分で最近活用して出た実績とかはどうなのか聞きたいです。</p>
広島総務部長	<p>ふるさとづくり事業に関しては色々な形で活用されています。</p>
小室総務主幹	<p>夏まつりだとか冬まつりとかの観光イベントに。基金を持っているのでそれを充てています。イベントだけではないですが、まちづくりに関わる各種事業の財源にこの基金を崩して充てています。</p>
木村委員	<p>実際にどういった事業に充てられているのか、次回までに出せるのであれば見せていただきたいと思います。</p>
広島総務部長	<p>基金を充当した事業内容ですか。</p>
木村委員	<p>はい。実際に町の中でまちづくりや町おこしを担っているのかが知りたいなと思います。</p>
田中まちづくり主幹	<p>②のまちづくり活動奨励事業の関係なのですけれども、こちらは補助対象事業になり、7項目あって、例えば地域の安全・安心を推進する事業だとか、環境美化・環境保全を図る事業だとか、子どもの健全・育成を図る事業だとかの項目があり、実際に使われた例として、去年は1件だけなのですけれども、北1商店街でコミュニティ拠点整備事業ということで、旭通りの寺田写真館の隣に。</p>
空師委員	<p>空家になっているところに子どもたちが勉強したりだとか。</p>
田中まちづくり主幹	<p>そうですね。</p>
木村委員	<p>前期の期間の中でも良いので、どれ位使われてという事例をご提示いただけるのであれば次回までに見せていただきたいと思います。</p>
田中まちづくり主幹	<p>28年度は1件、美幌マチコン事業、27年度は2件あり、バブルサッカー大会、びほろ元気なまちづくり講演会に使われております。 内容含めてまた次回にお示いたします。</p>
木村委員	<p>というのは、住民がもっと町おこし・町づくりに参加しなくてはならないという意味からいけば、こういったものがありますよということをもっと広く謳ってもっと使い易くしていかないと。だからと言って自分たちの利害関係のためにそのお金をもらって潤おうという人たちもいると</p>



発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
木村委員	<p>思うので、もちろんきちんとした基準を作らなくてはならないと思いますすけれど、もっともっと広く謳っていかなければならないかと思います。</p>
広島総務部長	<p>これには基準があります。その基準はそんなに厳しくはありません。そういう意識を持った団体の方については、色々研修に行ったり勉強に行ったりして実例を見てくることも必要ですし、何か自分たちで取り組んだ中でこういったものやってみたいというものについて使えるような補助金です。</p> <p>これはどちらかという町がPRして来なかった事業という意味でいけば使い勝手が良くて、本当に町づくりを真剣に考えている方たちにとっては良い補助金だと私は思っています。</p> <p>基準もあって審査会もあるので、正規なルートを経て補助金の交付決定がされるので、もっともっとPRをして良いのかと思います。</p>
木村委員	<p>比較的使いやすいものなんですね。</p>
広島総務部長	<p>他の補助金と比べますと幅広いです。</p>
三坂部会長	<p>他よろしいですか。 無ければ次に進みたいと思います。</p>
広島総務部長	<p><b>1-2 持続可能な行財政システムの確立</b></p> <p>それでは次に「持続可能な行財政システムの確立」ということで、素案の14ページからとなります。評価結果報告書は8ページです。</p> <p>評価結果は3.5の平均値となっておりますが、①の「行政組織の活性化」において達成度があまり達成されていない、達成されていないが各1事業あり、1つは組織改編の取り組みです。もう1つが人事評価制度となっております。時代に即応した組織のあり方や人事評価制度が職員の能力向上や人材育成へと中々結びついていない状況である事からこのような評価になっているということで、制度設計をして求めた結果に追いついていないという形の中で、達成されていないという評価になっております。</p> <p>また、⑨の「広域行政の推進」においても、達成されていないという事業が1つございます。</p> <p>これは広域行政の推進の中で人口減少を見据えて、近隣自治体との施設の相互利用や、事務事業の広域化に向けた調査研究が進んでいないことから達成されていないという評価となっております。</p>
平田委員	<p>人事評価は、自分たちで自分たちの職員の評価をしているということか。町民のアンケートとかによってですか。</p>
広島総務部長	<p>人事評価は、職員が職員を評価します。</p>
平田委員	<p>それであればそれが皆当てはまるとは限らないのでは。</p>
広島総務部長	<p>人事評価制度は、本来職員個々の、あなたはここをもう少し頑張らなければいけないですよというような評価をするのが1つと、それから、昇任に当たって参考にするということを含めてやっているのですが、こ</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	<p>こが上手く活用されていない。</p> <p>人事評価制度というのは職員個々のスキルアップを図るということで評価制度を持っているのですけれど、具体的な評価項目に対する改善が中々見えて来ない。あなたのこが評価2ですよと。本来は3が中心なので、ここを頑張って3に上げましょうということについてのスキルアップの方策が中々示せていないというのが人事評価が上手くいっていないというところで達成されていないということでもあります。</p> <p>そのことができないでいるということがあるので、昇任についても上手く活用できていないというところがあって基本的には役場の組織は人事評価によって動いていくというのが本来の姿なので、そこのところまでは到達していないため、低い評価となっております。</p> <p>あくまでも評価は職員が職員を評価します。</p>
平田委員	<p>職員からは評価が低いと見られているが町民からは評価が良いということがあるのでないかと思う。それはいいのですか。</p> <p>例えば職員から見てだめだという職員は、町民から見られてもだめだという見られ方をして評価が悪いという評価をするのですか。</p>
広島総務部長	<p>これは当然毎日の仕事の中身を見て評価するのですが、職員個々が今年はどういう目標を立ててやりますよと。こういうものを今年に解決しますという様にまずは目標設定をします。その目標が達成できたのかというのが評価の1つ。それとは別にもう1つは公務員として、あるいは自治体職員としてあなたはいかがなんでしょうかという評価。これをトータルして人事評価という形でやっているの、例えば町民からの苦情対応等も含めてきちんと評価の中には入って来ますが、町民目線と人事評価の目線が一緒かということ、必ずしも一緒ではないかもしれません。</p>
平田委員	<p>職員が職員を評価して組織改革をしようというのであれば我々が口を挿むことではないな。</p> <p>今見たら相対的に職員さんの人当りは良くなっている。挨拶もきちんとしてくれるので、個人的には今までよりは良いと思う。仕事の内容はわかりませんが。</p> <p>なので、組織の人が組織の人を見るのと、我々町民が職員を見るのとは違う。自分たちで自分の職員を良いのか悪いかを何を基準で判断するのかになって。</p> <p>例えば、今庁舎内は禁煙で、本来的には勤務中にたばこは吸えないですよ。それではたばこを吸いに行ってる職員は決まりを守らないから悪いになってしまう。だけど庁舎建て替えの懇談会で、たばこを安心して吸える場所を作ったらどうですかと言ったら補助金の関係でこれからの時代には作れないと言うから要はたばこを吸うなということ。ということは勤務時間内には吸ってはいけないということだから、外の議会のところで吸っていて、議会の古い屋根が壊れて落ちてきて頭に当たって大けがしたらどうなるのかという問題が出てくる。そういうことも含めて評価するなら良いけど。</p> <p>それと農協さんではどう評価しているかわからないけど、平均点を引いて、+5、-5と評価をする。だから賞与や給与の上昇もその上と下で10%違って来る。美幌にもそういう評価をしているところもある。</p> <p>機構の中の決まりだから我々が言える問題ではない。だから不公平を無くすために、勤務時間にたばこを吸ってはだめなので休み時間を利用</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
平田委員	して吸って欲しい。
三坂部会長	<p>だけど実際たばこ税が美幌にいくら入ってる。 皆さん止めなさいと言ったらそのお金が無くなる。</p>
平田委員	<p>けどそれを無くしたら病院に掛かる人が減って保険税が下がるという数字もある。</p>
広島総務部長	<p>人事評価はたばこ吸うか吸わないかの評価ではなくて、仕事に対するスキルがどうなのかということの評価しますので、きちんとした基準に基づいてやっています。そこに公務員として正しいかどうかという項目は、喫煙しますかではなく、時間が守れますかや他人に迷惑をかけないで仕事ができますか等で評価をしています。</p> <p>これをどうしますかと皆様に相談しても仕方がないと思いますので、飛ばしたいと思います。</p> <p>続いて組織機構についてなのですが、組織機構についても長年グループ制を採用してから、わかり辛いですとか、色々な形で行政の組織に対して言われておりますけれども、今グループ制の見直しを実施しているところで、これから職員も減って来ることから考えると組織自体も臨機応変にできる組織体制を作らないと、これからの時代に対応はできないだろうということで、その見直しもさせていただいた中で、適正できちんとした行政運営ができる組織を作っていくということが、中期の中でおそらく一定の方向が出るのだらうと思います。</p> <p>また、この中で1番大きいのが、庁舎の建設について検討・研究ということが前期のものでしたけれども、検討ではなく改築を行いますということで、明記をさせていただきました。</p> <p>それと合わせて16ページの(2)行政運営、行政サービスの効率化ということで、用途が廃止された老朽化した公共施設が残っております。役目を終えた公共施設がそのまま放置されているものが相当ありますので、計画を作って、今美幌町は空家対策協議会を作って空家の対策をやっていますので、行政自ら危険な空家を作るわけにはいかないということで、解体計画や利活用計画も含めてそういったものを作っていきますよということを新たに書かせていただいております。</p> <p>庁舎改築の具体的記述を加えたところでございますが、一方では財政的にも厳しい時代がおそらく訪れるだろうという風に考えております。人口が減少することによって就労人口も減少して来るところからいけば自主財源の主たる税収が減るため、財政運営もきちんとしていかないと段々後年度負担として大きくなって来る可能性がある中で、この中で、14ページの財政運営の中に起債のところも赤字で加えさせていただいております。過疎対策事業債、緊急防災・減災事業債などの、一般財源が多く伴わない、割と交付税措置のある有利の起債なのですが、こちらを活用しながらきちんとした財政運営をやって行くという形で付記させていただきました。</p> <p>具体的な施策の中身でいけば、大綱の名称が変わったところはありませんが、大きく変わったところはありませんので、前期を踏襲しながら、あるいは長期視点に立って必要なものについて、それぞれの項目の中で付記させていただいたという形です。以上でございます。</p>
三坂部会長	よろしいですか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
木村委員	グループ化の話でいけば、専門的なグループを作ってやったりしているのであれば。
三坂部会長	また昔の課に戻すことはないのか。
広島総務部長	それを含めて検討中です。
平田委員	課だってグループだって同じ。
三坂部会長	一番心配なのは職員がこれだけいて意識改革の中で沈滞ムードになるのが寂しい。若い経験者もたくさんいて発想能力があるのだからたくさん出ると思う。それを上手に活かしてくれるのは部長とか上の者だからその辺の活用をより効果的にしてあげれば職員の能力も上がるのではないかと思う。
広島総務部長	グループ制もそうですけれど、従来であれば管理職が検討して結論を出すという方法を取って来たのですが、今は主査職で検討していただいております。というのはこれから先を考えたときに、そういった主査職が今後は中心として行政運営をやっていくということであればこの年代の方たちが真剣に考えていただいて結果を出すということが必要だろうと思っていますので、昔と違って若い世代に下ろしていくという形を行政の中では取っています。それで若い人間も育っていくのだろうと考えています。
平田委員	<p>だけど物事の発想だとか仕事の取組みは、若いとか年寄りとか関係ないと思う。職域の逆転みたく、主査職の職を部長たちの仕事できるポジションになって、部長たちが降格というわけではないが、立場的な権限の逆転だとか総合的にやって行かなければ。</p> <p>ただ結局主査たちで喧々囂々やったら上にあげて潰されれば同じことになってしまうのだから。</p>
広島総務部長	上の方も潰さない努力はしないとイケない。
平田委員	<p>どんどん口を出して、経験を伝授していかなければならないし、その立場の顔で、そういうものを利用しながら。昔から見れば町職員の出張だとか他市町村との交流だとか減っているのではないかと思う。なので横との繋がりもないから、全てが初めましてとなってしまうと、情報も得られない何も得られないということだと思う。</p>
小室総務主幹	<p>行政運営というのは役場の組織をどうやって動かして行くかを考えたときに一番のペースダウンはモチベーションですね。やりがいを感じていかに自ら動く職員を育てるかだと思います。</p> <p>その中で例えばグループ制が良いのか悪いのか、それと組織体制は平成18年以降ずっと変わってなく、もう10年以上同じなのです。それが果たして良いのかというのを、今見直しをかけようと思っています。というのは役場の庁舎が建て替えになるこの時期は凄くチャンスだと思います。そこを上手く捉えてモチベーションが上がるような組織体制を作りたいということで進めてはいます。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
木村委員	<p>モチベーションという意味で言えば、例えば僕らが何か必要なことがあって役場へ行きますとなったときに、さっきの話に戻ってしまいますが、この人の対応凄く悪いと思ったときに、役場は変えられないですよ。僕らが何かをしなければならぬときに役場に行かなければならぬ。例えばガソリンスタンドだったら、ここは対応悪いからこっちへ行こうということが出来ますけれど、役場は絶対そうできないので、全員が全員根底まで民間の気持ちを持たなくてはならないというのは違うと思うのですけれど、でも町の仕組みだとか、どうしてこの人がここにきてこれが必要なのかというのを知るためには、例えば民間研修ではないですけど、民間がやっている経理ってどういうことやっているんだろうとか、民間のお金の動きってどうなんだろうということをもっと、話を聞く機会だとか交流する機会を作った方が視野が広がっていくのではないかなと。</p>
木村委員	<p>役場の職員が何のために私が今この仕事をしているのだろうかとか、向こうは何でこれが必要で来ているのだろうかというのをきちんと心の底に落とし込もうと思ったならそういうのは必要なのかなと思ったりはします。</p>
小室総務主幹	<p>木村委員の言うとおりで、ある意味競争相手のいない職場ですので、そこはしっかり日頃から、研修もそうですし、外部に出て色々研修の機会を作ることも大切ですし、それは意識してやっていかなないといけないと思います。</p>
三坂部会長	<p>確かにこういう小さい町になったら尚更大事。要するに職員自体が町の経済を知るといふこと。銀行ではないが、経済的な発想の目で町の経済を見ないといけない。事務的なことだけやるのであれば意味がない。そういうことをやらないとこれからの町は生きていけない。</p>
木村委員	<p>仕事に一生懸命になるのは凄く良いことだと思いますが、一生懸命になるが故に、やらなくてはならないことになってしまっていて、何のためにやっているのかとか、さらに良くするためにはどうしたら良いのかというところまで見えなくなってしまう時ってどの職種でもあると思います。僕らもありますし。</p> <p>やはりそういう時にどう立ち返ろうと思ったときにこれが何のためなのか、何でこの人がこれを求めて来ているのかということと考えたら、こうじゃだめだよとか思うわけです。</p>
小室総務主幹	<p>先ほどの人事評価というか人材の話と正に同じ話だと思います。</p>
三坂部会長	<p>もう正直言って、美幌の役場公務員がこんな感覚では町はいかないから、町の情勢を見極めるといふ体制をきちんとしておかないと、町はこれから経済的にも色々な面で大変になる。農業分野でも全て見渡して、研修会でも何でも良いから勉強して、職員がそれだけの能力を作っていくということ。それ位していけないと。</p> <p>今それをやっているのは銀行関係。</p>
平田委員	<p>最近の役場職員を見ていても、例えば戸籍担当、昔なんてカウンターから外に出て横に座って説明したりは見られなかった。今はもうそのよ</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
平田委員	うなことは日常茶飯事でやっている。どこに行ったってお客さんと接する場合目線を同じくして対応する姿を結構見るから、そういう面では随分変わっていると思う。たまたまある町民が住活に行って、町民が行っているのになぜ座らせないで立たせて話すんだと言っていた人もいたが。今度新しい庁舎になれば改善されるのだろうけど。
木村委員	<p>1つだけ言わせてもらえるのであれば、役場の職員さん全員挨拶はしてほしいなと思います。正直少し行きにくい雰囲気があります。仕事に一生懸命なのはわかりますけれど、僕らの仕事はどんなに忙しくても、やはりお客様が来たらいらっしゃいませでもこんにちはでも言いますが、顔を合わせてくれないというか、近くまで行かないと。行きやすい雰囲気をもう少し。先ほど平田委員さんがおっしゃった様に、僕が対応を受けたときに嫌だなと思ったことはないです。皆さん素晴らしい対応をされていましたが、もう少し明るい雰囲気が欲しい。正直あまり役場に行きたくないと思う時はあります。来たい人がどんどん増えたら良いという話ではないですが、町の顔なので。</p> <p>せっかくピンクの婚姻届とかもやっていて、それは良いですけどあまり祝福感がないような。</p>
小室総務主幹	町民の皆様からすればそんなに役場って用事がなく、もしかしたら1年に1回しか来ない方もいらっしゃる。その時の印象が良いか悪いかは大事なことなので、意識しなくてはいけないことだと思います。
三坂部会長	<p>では次お願いします。</p> <p><b>1-4 地域の安全対策の充実</b></p>
広島総務部長	<p>はい。次は素案の22ページからとなります。1-4「地域の安全対策の充実」です。評価結果報告書は10ページになります。</p> <p>前期評価結果として、この項目の平均が4.1でありますので、達成度についてはある程度目標がクリアされている事業が多いと考えております。</p> <p>素案の22ページの中でいけば、「現状と課題」に「交通安全」と「防犯」という2項目で整理がされている状況であります。「交通安全」につきましては、町民の交通安全に対する意識が高く、各種安全運動の取り組みに対し、多くの町民や団体からの参加をいただいております。町民一丸となって交通安全運動を推進しているということが、死亡事故ゼロの日数のをどんどん増やしている形の現れとなって出ているのだろうと思いますので、引き続きこれらの推進を図っていくということで警告をし、交通安全の部分については中期の中でも大きな変更点はありません。</p> <p>一方、高齢化が進んでいる中で、高齢者の安全確保をどうするかという事が大きな問題です。高齢者の安全確保に配慮する必要があると考えておりますので、運転免許の自主返納も、自ら事故を起こさない、事故に遭わないということを含めて、引き続き奨励していかなければならないと考えています。</p> <p>また、高齢者が歩く歩道について、相当危険性が高いものも多くなって来ているところから、この歩道環境の整備なども年次的計画を持って進めて参りたいと考えております。</p> <p>もう1項目の「防犯」については、近年多発しております、特殊詐欺</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	<p>に遭わない為のPR活動を消費者協会も含め積極的にやっていく体制整備も作っていかねばいけないだろうし、その相談体制の確立もしていかなければいけないと思っています。</p> <p>また、防犯灯のLED化をやっている最中で、町内のほとんどの防犯灯や街路灯についてはLED化を行っているところです。これにより夜間の安全対策を図り、地域の安全、防犯にとっても必要なことなので、この防犯灯を新しくして、今までは自治会で管理をお願いしていたのですが、全て行政で管理し、夜間の安全対策の推進をしていきたいと考えております。</p> <p>防犯運動についても各団体が積極的な防犯運動を実施していただいておりますので、この団体等との連携を図りながら、安全・安心に暮らしていただける環境整備と注意喚起を引き続き行っていきたいということが中期の計画となっています。この項目については大きな変更点はございません。</p>
木村委員	防犯灯を1つ設置するのに大体いくら位かかるのですか。
広島総務部長	これはタイプによります。今回多いのは灯部だけ取り替えたものが多いです。
田中まちづくり主幹	少し長めの電柱に付いているような防犯灯であれば、灯部だけで4万円＋工賃がかかります。
木村委員	そもそもそこに照明が無くて増設しなくてはならないとなった時はどの位かかるのですか。
平田委員	<p>そういうのはほとんど北電さんの電柱を借り受けて、そこに付けるというもの。よほどでなければ支柱から建てるということはない。</p> <p>だけど、今回LED化したときに地域で新設箇所ありませんかと自治会に要望も聞いて新設とかもやっているから、この工事が終わった後に工事の問題点や不足はまたこれから。</p>
木村委員	なんだかんだ晩はまだ暗いなと思って。
笠師委員	私は前に付いていた街灯よりも、今付けているものは暗いと思います。だけど大きいのは前よりも明るくて良いと思う。付いたものによって前と違う。
平田委員	新規で支柱から建てるとなると結構取られるの。
広島総務部長	20～30万かかります。
平田委員	今回自治会でやったときに原則は北電さんが借り受けられる電柱があるところはそこに、灯部だけ付ける。よほど離れていて支柱から建てなくてはいけないものが何本ある。
田中まちづくり主幹	88本です。
平田委員	今日もLED化のことについて伝書鳩に書いてあったけど1月一杯で

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
平田委員	工事期間が終わると書いてあった。
田中まちづくり主幹	そうですね。
平田委員	そこが終わった段階、新年度の色々意見が出ているのだけれど、今まで水銀灯で360度照らしていたのが、LEDになって一方しか照らさないから全体的に暗く感じるという意見も出て来ている。それは担当主幹も前向きに考えてほしい。
田中まちづくり主幹	ものによって付けられないものがあります。ポール自体の強度もありまして、今平田委員が言われました360度照らしていたものを同じ様にLEDに付けると、LEDは意外と重く、ポールが太くなくてはいけないので、今付けている360度のやつからLEDに変えたとしたら、ポール自体を変えなくてはいけない。そこまでいくと経費がかかり過ぎます。一方方向にはなっていますが、灯り的には遜色ないようなものを当然付ける形にはしているのですけれども、全方向明るく見えるのか、ある一定の方向しか見えないのか。一定の方向でもある程度きちんとは見えるが、先ほど言われたとおり暗く見えると感じるのは何か所か当然出て来てしまいますが。
木村委員	個人的な話ですけれど、家から町に歩いているところで全く街灯がないところが1ヵ所あります。真っ暗なので歩道へ上がる時にガクッとなります。そういう意味でも危ないというのもあります。
平田委員	防犯灯の問題ではなく、自己防衛のために懐中電灯を持つとか。夜中走っていて、自分のライトを消してみたらいかに暗いかがわかる。
三坂部会長	開発の黄色いのはLEDか。
平田委員	黄色いのはLEDではない。
奎師委員	町で管理できるものと、開発だとか国のものとか色々ありますよね。
広島総務部長	国のやつは手を出せません。
平田委員	<p>今街灯の問題で余談だけれど、網走の自治会さんとの意見交換会に行ったのだけれど、網走は悲惨で、向陽ヶ丘病院だとか開発の官舎は道路際に全部付けてと言ったのだが、人員が少なくなったり公宅が廃止になったために自治会に全部あげると言い始めて、貰うのは良いけど電気代がひどいとか。</p> <p>うちはそこに人が住まないから管理できないので消すからと言われたと。なのでそこは暗闇になってしまっている。そういう問題が網走には出ている。</p>
三坂部会長	いずれにしても街中が暗いというのはだめ。何が起こるかわからないから。
木村委員	これは継続してやっていただきたいです。



発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
三坂部会長	それでは、他よろしいですか。次お願いします。
広島総務部長	<p><b>1-5 公共交通の充実</b></p> <p>それでは次が、素案が26ページ、評価結果報告書が11ページの、「公共交通の充実」です。</p> <p>前期の評価結果については、平均値が3.2で概ね計画通りに達成されている状況にありますが、「鉄道の充実・確保」の中であまり達成されていないものが2つの事業で出ております。これは鉄道利用の促進と石北本線路線の安全確保の要望の項目で、それぞれあまり達成されていないという評価であります。ご存知のとおり、道内各線区において、JRとしての考え方が示されて、石北本線の維持や財政負担等の話が先行していることから、本来の鉄道利用促進あるいは石北本線の利便性向上といった話ができない中で、なかなか議論が進まないということで、あまり達成されていないという評価になっております。</p> <p>中期の取り組みの中では、地域住民の方々の足を守るために今までやっております施策について、引き続き実施をするという形で考えております。特にJRにつきましては、鉄道が果たしてきた役割、今後とも果たさなければならない役割等と併せ利便性や安全性の向上に向けた要望を引き続き行いたいと考えています。</p> <p>もう1つ赤字で多く書かれておりますのが、女満別空港の利便性向上でございます。LCC就航のための取組あるいはチャーター便等を含めて、空港を利用した形の公共交通の拡大を図るという方向性での記述がされています。施策については大きく具体的に変わっているというものはないと考えています。以上でございます。</p>
三坂部会長	何か意見は。
杵師委員	今美幌から飛行場へ行くバスというのは、網走バスに乗って、飛行場で降りて、そのバスは網走に行くのですか。
木村委員	そうですね。女満別空港経由で網走に行くという感じです。
三坂部会長	全部ではない。
広島総務部長	下に行くやつと空港を経由するやつがあります。
杵師委員	北見発も真っ直ぐ上がっていくのですよね。
木村委員	あれは町通らないですよね。
広島総務部長	そうですね。高野から行ってしまいます。一応停留所はあります。半分は空港まで行っているのですが、半分は女満別の市街を走る形です。網走バスは。
平田委員	要するに美幌から乗る人がいないからバス会社もそういう風にしてしまう。
三坂部会長	根本的なのは行政のミス。路線バスというのは行政に聞くのだから。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
三坂部会長	<p>そうしないと陸運が許可しない。にも関わらず町が当時、大したことないと思って。良いですよと軽く返事したものだから。高野から下りると真っ直ぐ行くのとでは時間的には5分違う。なぜそれを言うのかというのは、乗る人が少なくても向こうから来て降りる人が多い。ところが今東京から来て、美幌へ来る交通の便がないからハイヤーか何かしかない。</p> <p>そういう経過を実際皆が知らない。無くなった根幹はそこにある。路線バスの廃止は必ずそういう風になっている。自治体に飛行機で来るしよ。そして良いですか良いのではないですかとなってそれで廃止になって来るのだから。ところがあのときは当然美幌経由のバスだから。</p>
田中まちづくり主幹	昔は阿寒バスでやっていたときもあります。
三坂部会長	阿寒バスは、定期便で走っていたやつ。
田中まちづくり主幹	先ほどの網走バスのやつで6便走っているうち3便が空港を寄って行きます。
三坂部会長	<p>地元の人たちはバスを利用する人が多いのだけれども、だいたい送り迎えで行って乗ってしまう。そういう痛みがわからない。だからそういう結果になってしまった。それは事実で、その後慌てて言ったけれど、もう決まっているからだめだった。</p> <p>あれはもう美幌に入ってくる。だから我々が言うのは都市間バスから美幌を離したくないということ。</p>
平田委員	北見から空港行っているバスも大して乗っていない。
木村委員	そもそもバイパスの中に人入れないからまず通っているの見れないですよ。
平田委員	飛行機が着いたとき、あのバスに乗る人自体が少ない。
木村委員	難しいですよ。そもそも車社会ですから。
三坂部会長	女満別空港が民営化になってどういう形を取るか。それによってまた変わるのかな。
広島総務部長	網走バスは空港まで3便行ってますけれども、空港利用者はほぼ乗っていないのです。厚生病院へ行くとかそういう人たちが乗るだけであって、空港に行くために網走バスを利用する人はほとんど乗っていません。全部車で行くという形です。
木村委員	住んでいる人は送り迎えか自分の車で行ってしまったり、こっちに入ってくる人はだいたい商売やっている人が多いから空港でレンタカー借りて入っちゃいますよね。
三坂部会長	<p>あとは会社の車。</p> <p>ということで、空港との便についてはこれから民間になってLCCというのを地域でやっているけれど中々厳しいのではないかと。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	実現は中々厳しいかもしれません。
木村委員	でも釧路-大阪便入りましたよね。
三坂部会長	やっとな。だけどあれも搭乗率の比率が70%切ったらストップする。というのは残り30%が利益になる。
木村委員	だったら飛ばさない方が良いという判断ですね。1回使ってみようかなと思いますけれど。
三坂部会長	<p>女満別-羽田の料金が安くなったら良いと思う。向こうから来る人は安く、こっちから行くのは高い。女満別-札幌もそう。昔からみたら高くなっている。割引もない。</p> <p>公共交通に関してはそんなところ。これからこれから良い方向に向けて良いのだけれども。</p> <p>他ないですか。</p> <p>それでは今日はこれで一旦終わりにして次は1-6からやります。よろしいですか。</p>
一同	(はい。)
小室政策主幹	<p>事務連絡よろしいですか。</p> <p>本日はご苦勞様でした。あと、10日と18日にも会議を予定しておりますので、同じく18:30から町民会館で行います。</p> <p>なお、場所については、隣の部会の音が聞こえるといったことがあるかもしれませんので、事務局で検討させていただきますが、その時はわかるようにしますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
三坂部会長	<p>それでは以上で終わらせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">了</p>